

自然からの贈り物

笠松保育園では、子どもたちに自然の中での生活体験を積極的に取り入れています。園には樹齢一〇〇年のイチヨウの木がそびえ立ち、春夏秋冬、子どもたちを楽しませてくれます。春には目の覚める新緑の姿を見せ、夏から秋にかけて実を付け、秋から冬にかけて黄金色の落ち葉のじゅうたんをします。

子どもたちは、その上で転がり体中に落ち葉を身にまとい遊びます。

春にはいろいろな生き物が誕生します。子どもたちはどんなに暑い日でも夢中になり、顔を

真っ赤にしながら「虫さがし」をするのです。植木鉢や石を動かしてはミミズ、ゲンゴロ虫などを探し、時にはバッタなど一耕になって汗をかきながら飛び回るのです。

このころでは昔と比べ、子どもたちを取り巻く環境もかなり変わってきています。「知育」「勉強」が重要視され、本来子どもにも必要である体で学ぶ「遊育」が減少してきている様に思っています。

ある小冊子に「ヒ・フ・ミ・ヨの育見と教育」という言葉が掲載されていました。「ヒ」とは太陽の力、お日様という事で日当たりが大事です。「フ」とは風、子どもは風の子、外で遊ぶという事です。「ミ」とは水と砂、大自然への挑戦、大自然と親しくなる事です。「ヨ」とは葉、養という字も葉からきています。土から生まれた野菜などのビタミンをたくさん摂取しなければいけません。この教育が

笠松保育園でも行われています。それは毎年恒例になっている「さつま芋作り」です。園内には芋畑があり、春には全面児で苗を

植えます。水やりなどをして苗の成長を見守ります。秋には子どもたちが楽しみにしている芋掘りを行います。どの子どもも大きな芋を掘り当てたくて一生懸命です。そして、お楽しみの一、焼き芋パーティーです。園庭での枯れ葉を使い、芋を焼きます。どの子どももホクホク細く美味しくお芋を頂きます。そして後日書

いた子どもたちの絵には一人一人、芋の表現が自由に描かれています。

この様な生活体験こそが、本来子どもたちが持っている力を最大限に伸ばすことのできる「遊育」であると思います。

笠松保育園保護者会会長

岩田由紀恵



教育委員会
により

小学校新入学予定児童の健康診断

教育委員会では、平成十八年度の新入学予定児童を対象に、健康診断を行います。

これは、新しく小学校に入学する児童が、楽しい学校生活を送ることができるよう健康状態を調べるものです。

【通知】

八月一日現在の住民登録にもとづき、新入学予定児童の保護者に就学予定の小学校から九月中に通知をします。

【健康診断の内容】

内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科の各検診と視力、聴力の各検査、知能検査をします。

また、今までの発育や検査の状況を把握するため、医師が母子手帳を見させていただくことがありますので、ご持参ください。

【実施場所・日時】

・笠松小学校

10月3日(月)

受付 午後1時～

・松枝小学校

9月29日(木)

受付 午後1時～

・下羽栗小学校

10月12日(水)

受付 午後1時～

郡会で健康診断が受けられない場合は、必ず通知を受けた小学校へ連絡してください。

【相談の窓口】

健康診断や就学について心配なことがある場合は、次のところへお気軽にご相談ください。

・笠松小学校

☎388-0101

・松枝小学校

☎388-2551

・下羽栗小学校

☎387-3123

・羽島郡三町教育委員会

学校教育課

就学相談担当者

☎245-1133



笠松町道徳教育連絡会議